

Light System Manager

ライトシステムマネジャー

ユーザーガイド

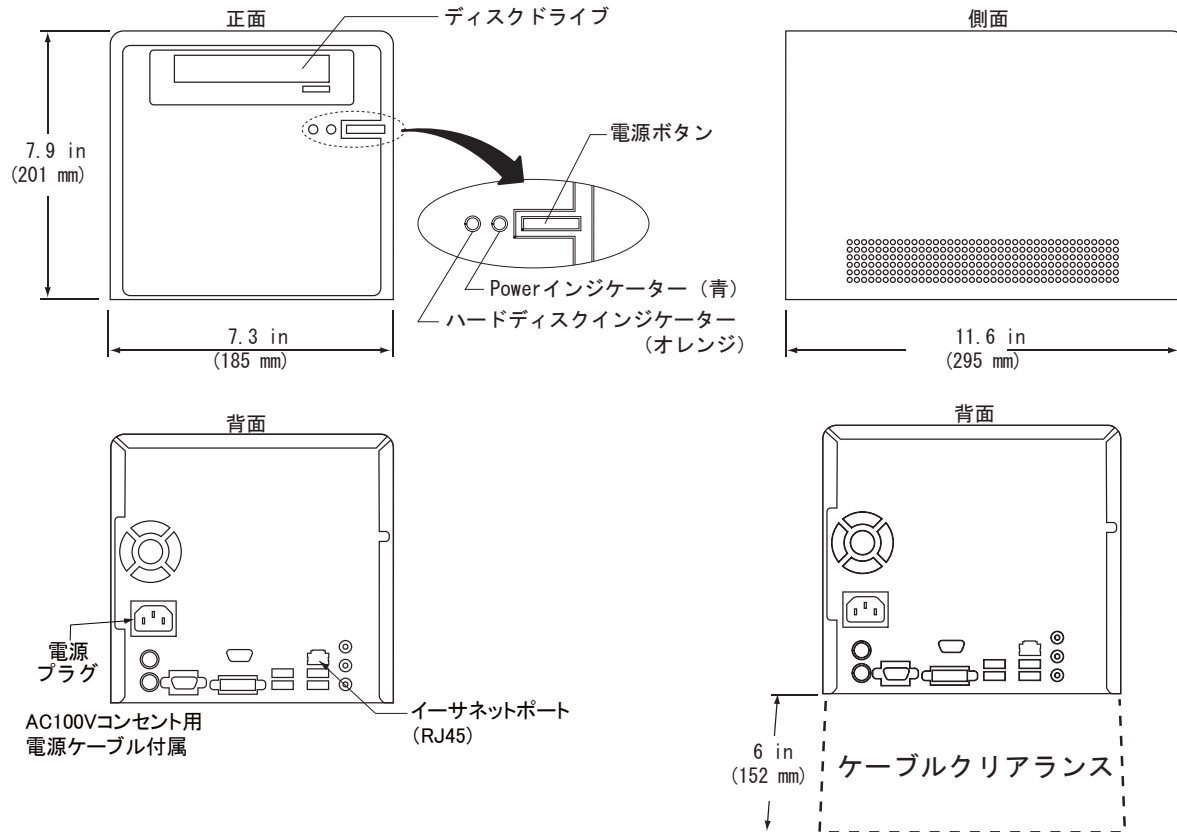
取扱説明書

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

本書では、フィリップスのイーサネット・コントロールシステム Light System Manager（ライトシステムマネジャー / LSM）の基本的な取扱方法および運用方法についてご説明します。

■ プログラム再生用ハードウェアの取扱方法

寸法単位：mm



注意 :本マニュアルに記載されていない接続ポートやスイッチは、使用しないでください。故障の原因となることがあります。

※ディスクドライブは、ハードウェア OS をリセットする必要が生じた場合にのみ使用します。

リセット CD については、販売店または弊社担当者までお問い合わせください。

◆ 電源の入れ方

1. 電源プラグに付属のAC100Vコンセント用電源ケーブルを接続してコンセントに差し込みます。
(AC200Vでご使用の場合は別途AC200用の電源ケーブルをご用意願います。)
 2. コンセントを差し込みますと自動で電源が入ります。また、差し込んだ状態で電源が入っていない場合は電源ボタンを押してください。システムが起動開始し、Powerインジケータが青く点灯します。
 3. システム稼動中は、ハードディスクインジケータがオレンジ色に点滅します。
- ※ 保存した演出内容によって異なりますが、起動するのに目安として5分～20分必要です。

◆ 電源の切り方

1. 電源を切るには、電源ボタンを5秒間ほど長押しします。Powerインジケーター・ハードディスクインジケーターが
消灯し、ハードドライブが停止したことを確認してください。
2. ブレーカーなどの一次側電源は、最後に切ってください。

注意 : 本製品はコンピューターをベースとしたハードウェアです。起動中にいきなり電源ケーブルを抜いたり、電源ボタンを使わずに一次側電源のブレーカーなどから直接電源を切ると、製品不具合、故障の原因となりますのでご注意ください。

■ システムの管理について

Light System Manager によるイーサネット・コントロールシステムでは、コントローラーハードウェア、パワー / データサプライ、ライトといった各機器を、イーサネットスイッチを介して接続し、独自のネットワークを構築します。一般の LAN との兼用敷設は出来ませんのでご注意ください。

※ イーサネットスイッチは「マネージドモード」機能があるDELL 製 Power Connect 2700 シリーズのギガビット・スイッチを推奨します。
マネージドモードはデータ通信が不安定な場合に復旧を助ける機能があります。

◆ システム構成 I

ショーの呼び出しと消灯に、イーサネット・コントローラーキーパッドを使用

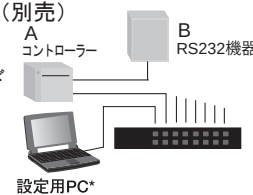
- A コントローラー (Light System Manager)
B イーサネット・コントローラーキーパッド (別売)
C イーサネットスイッチ (別途)
D パワー / データサプライ (別売)
E PoE インジェクター (別売)

◆ システム構成 II

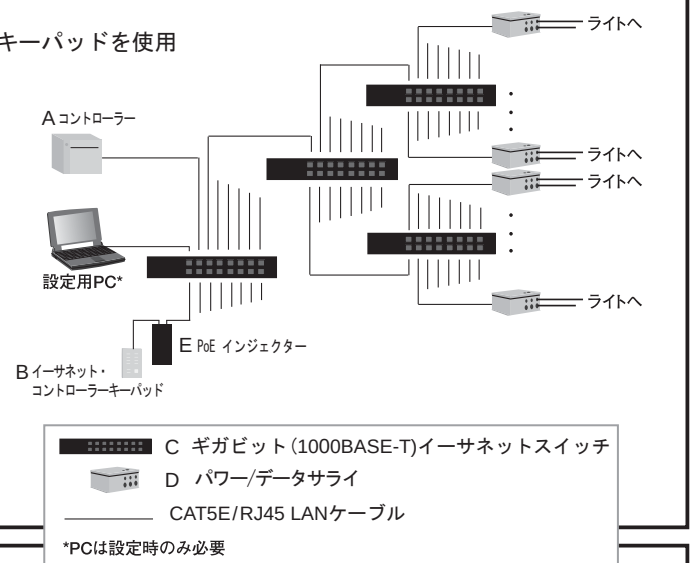
ショーの呼び出しと消灯に、RS232 を使用
(コントローラーのシリアルポートから)

- A コントローラー (Light System Manager)
B RS232機器 (別途)
C イーサネットスイッチ (別途)
D パワー / データサプライ (別売)

※ RS232 シリアルプロトコルについては別途 アプリケーションノート がごさいます。詳細はお問い合わせください。



※ C、D の接続は ◆ システム構成 I と同様



◆ 電源のとり方

電源回路およびタイマーの設定は、下記 1. 2. を参考にして用意してください。

1. コントローラーの電源は、独立して制御できるようにする。

A (コントローラー) の電源は、本体ボタンの電源スイッチから切る必要があります。コントローラーの電源系統は他のシステムから独立させ、ブレーカーから電源を落とされることのないようご注意ください。

メンテナンスなどでやむなく電源を切る必要がある場合も、まず本体ボタンで OFF にしてから AC100V（または 200V）の供給を止めてください。※AC200Vでご使用の際は、別途電源ケーブルをご用意願います。

2. パワー/ データサプライおよびイーサネットスイッチのブレーカーは、小分けに制御できるようにする。

これは、システムトラブルに備えた対策です。システムの電源をいったん落とした場合、稀に再起動後ライトが正しく作動しない場合があります。この症状が出た場合、該当するパワー / データサプライやイーサネットスイッチの電源を入れ直す必要がありますので、ブレーカーは小分けにしておいてください。

(◆ システムの運用方法 ② パワー / データサプライの電源を操作する場合 注意 2. 参照)

◆ システムの運用方法

演出の開始（点灯）と演出の終了（消灯）のしかたは、下記 ① ② ③ を参考にしてください。

コントローラーの電源操作によるライトの ON/OFF はできません。

- ① コントローラーの信号切り替えで操作する場合 ー黒色点灯による消灯ー

上記のシステム構成「B」(コントローラーキーパッドまたはRS232 機器)で点灯 / 消灯を操作します。このとき全ての機器の電源は入りれたままにしておき、演出を終了したいときは黒色点灯のデータを流すことでライトを消灯します。たとえば、上記◆システム構成 I のようにイーサネット・コントローラーキーパッドを使用する場合は、キーパッドの「OFF ボタン」が黒色点灯と同じ機能をもっていますので、OFF ボタンを押してライトを消します。

- ② パワー / データサプライの電源を操作する場合

上記のシステム構成「D」（パワー / データサプライ）の電源の入り切りを行うことで点灯 / 消灯を操作します。

この時コントローラーの電源は ON にしデータを流した状態にしておきます。ただし、以下の点にご注意ください。
注意 1. パワー / データサプライの電源を入れたとき、ライトが点灯するのに多少の個体差があります。したがって

て全てのライトが誤差なく演出を開始するようにしたい場合は、電源を入れるときコントローラーから黒色点灯のデータを流しておき、パワー / データサプライの電源を入れた後、しばらくしてから、点灯データに切り替えてください。

注意 2. パワー / データサプライへの電源供給とともに大量のデータが一度にシステム上に流れることで、稀に一部の機器にデータが正常に受け渡しされずライトが正しく作動しない場合があります。この場合まず、該当するライトのパワー / データサプライの電源を入れ直してください。それでも復旧しない場合は、該当するイーサネットスイッチに接続されているLANケーブルの抜き差しと電源の入れ直しを実施してください。

安全上のご注意

◆ 照明器具のご使用について

警 告

火災のおそれがあります

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属や燃えやすい物など）を差し込まないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、熱源器に近づけたりしないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 異常時（煙が出たり、変なにおいがする等）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる所に、大切に保存してください、ご不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。

保証について

本製品の保証期間はご購入日より1年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きにしたがった正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換をさせていただきます。ご購入の販売店もしくは(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンまで連絡下さい(特別に訪問をおこなった場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。

- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
- 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
- ご購入後の輸送や移動および落下等、不適当な取り扱いにより生じた故障及び損傷の場合。

③ Light System Manger のスケジューリング機能で管理 ー自動操作ー

あらかじめLight System Manger のソフト上で、再生するショーの種類や時間の設定、消灯時間の設定（黒色点灯の設定）などを組むことができます。この場合、自動再生 / 消灯となりますので、全ての機器の電源は常時 ON にしておいてください。

注意 1. ただし月日の経過とともにコントローラーのクロック（内部時計）に誤差が生じるため、定期的な調整が必要となります。（◆クロック（内部時計）の調整 参照）

■ コントローラーのメンテナンス

◆ コントローラー（Light System Manager）の再起動

一ヶ月に一度、コントローラー（Light Sysvem Manager）の再起動を実施してください。

これは、ハードディスクドライブのフリーズを予防するために行います。再起動は、電源の切り方1. を実行し、その後10秒以上あけてから再度電源ボタンを押してください。

◆ クロック（内部時計）の調整

日々の運用にLight System Manager のスケジューリング機能を利用してライトショーの切り替えや消灯を行う場合、そのタイミングが正確な時刻に保たれるようにするは、コントローラー（Light System Manager）のクロック（内部時計）を定期的に調整する必要があります。これは、月日の経過とともにクロック（内部時計）に誤差が生じるためです。手順については、別途お問い合わせください。

－ この作業を行うには、設定用 P C が必要となります。

備考：メンテナンス時、コントローラーの電源を切ったとしてもパワー / データサプライに電源が供給されている限り、ライトは消えません。直前のデータがライトに残ります。ライトを完全に消灯するには、「黒色点灯」のデータを流すか（※）、パワー / データサプライの電源を切ってください。
※イーサネット・コントローラー キーパッドでは、OFFボタンが「黒色」点灯と同じ機能を持っています。

安全上のご注意



- 本製品の分解、改造は行わないでください。
- 本製品の設置環境にご注意ください。振動のある場所や、ホコリの多い場所、水のかかる恐れのある場所、直射日光の当たる場所は避けてください。また、使用環境条件は必ず守って下さい。[温度10℃～35℃、湿度 20%～80%、結露なし、屋内に限る]
- 本製品の周囲には、熱を発する機器を置かないでください。
- 本製品の周囲には、放熱と通気のために、必ず適切な空間を設けてください。15cm 程度の空間を確保することをおすすめします。特に、本体側面および背面の通気孔はふさがないでください。
- 本製品は、ラジオ、テレビなどに雑音を与える場合があります。また、強い電波や磁気を発する装置が本製品の近くにあると、雑音によりシステムに障害が及ぶ場合があります。他の情報機器、通信機器などから十分な間隔を保って設置し、また別のコンセントに接続して使用してください。

瞬時停電対策

本製品はコンピューターをベースとしたハードウェアのため、度重なる停電やシステム起動中に起こる強制終了は、製品不具合の原因となります。

- 瞬時停電対策として、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。UPS の選択については、電気工事業者にご相談ください。

・ 定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
AC100V-220V 50Hz-60Hz	2. 5A-1. 14A	250W 最大

・ 使用環境

場所	温度	湿度
屋内	10℃～35℃	20%～80% 結露なし